

自民・公明・維新の三党協議 OTC類似薬の保険外し 協議打ち切りへ

OTC類似薬の保険適用
除外に關し、国会中では議
論を打ち切ることで、自民・
公明・維新の三党協議が一
致した。自公と維新で考え
方に隔たりがあり、「現段
階でこれ以上議論をしても
進展がない」との認識で一
致した」という。5月23日
の協議後会見で維新の岩谷
幹事長が述べた。

なお、5月23日の会見で
岩谷・維新幹事長は、国内
の病床を削減する方向性で
三党が大筋合意したと説
明。ただ、実効性については
「隔たりがある」とも触れ
た。自民の田村憲久議員は
精査が必要との立場を強調
した、等と報道されている。

マイナ保険証ある人にも資格確認書

渋谷区・世田谷区が独自判断

読売社説「利用率低迷が示す使いにくさ」

類似薬の保険適用を外した
場合の患者負担増分の試算
の中には、負担額が10倍近
く増えるケースもあった。
こうした中、維新は5月
15日の協議で「具体的なも
の（保険適用除外の案）が
出てこなければ、協議を打
ち切りたい」と主張。自公
はOTC類似薬への考えを
示したペーパーを23日の協
議に出したものの、維新は
反発。今後は議題に取り上
げない意向が示された。

ただ、協議の過程で自公
は「類似の効能を有する代
替可能なOTC医薬品が存
在する医療用医薬品」につ
いて検討すべきとし、「必
要な受診が確保される形で
制度設計を行う必要があ
ることなどから総合的に判
断」と言及。この動きに対
して、渋谷区と世田谷区
は、マイナ保険証を持って
いる人にも資格確認書を一
斉送付することを決めた。
資格確認書はマイナ保険証
を持たない人に送るのが原
則だが、渋谷・世田谷両区
は住民の不安などを背景に
独自に判断した。

東京都渋谷区と世田谷区
は、マイナ保険証を持って
いる人にも資格確認書を一
斉送付することを決めた。
資格確認書はマイナ保険証
を持たない人に送るのが原
則だが、渋谷・世田谷両区
は住民の不安などを背景に
独自に判断した。

今年、神奈川県保険医
協会の定時総会は6月15
日午後1時30分より、横
浜ベシエラトンホテル
&タワーズ5階「日輪」
にて開催される。総会は
執行部として、一般の会
員の先生方から直接、意
見や提案をいただける絶
好の機会として位置付け
ている。

025年度活動方針案の
件」は、これまでの急速
な医療DX推進に対応で
きない医療機関、高騰し
続ける生活物価や光熱
費、医療機械や材料費の
2023年度決算、第4
期に組んでいくかの決意表
明でもある。これらの活
動に対し、活発な意見
ご提案をいただきたい。

額に見合った事業支出総
額を堅持し、各収支項目
において合理性のある積
算額となるよう努め、更
に災害対策等のリスクマ
ネジメントに注意を払い
ながらの予算編成に努め
ていることを提案する。

議事に先立って開催さ
れる記念講演では、「開
業医・協会業務等への生
成AIの活用について」
との内容で、講師に京都
大学医学部附属病院・眼
科学教室の佐渡恵奈氏、
フィッティングクラウド
(株)代表取締役の岡本
和也氏をお迎えしてお話
しいただく。また議事終
了後には、豪華賞品が当
たる福引会も行われる。

是非、総会に足を運んで
いただき、忌憚のないご
意見を賜りたい。

額に見合った事業支出総
額を堅持し、各収支項目
において合理性のある積
算額となるよう努め、更
に災害対策等のリスクマ
ネジメントに注意を払い
ながらの予算編成に努め
ていることを提案する。

議事に先立って開催さ
れる記念講演では、「開
業医・協会業務等への生
成AIの活用について」
との内容で、講師に京都
大学医学部附属病院・眼
科学教室の佐渡恵奈氏、
フィッティングクラウド
(株)代表取締役の岡本
和也氏をお迎えしてお話
しいただく。また議事終
了後には、豪華賞品が当
たる福引会も行われる。

是非、総会に足を運んで
いただき、忌憚のないご
意見を賜りたい。

主張 第70回定時総会を 迎えるにあたって 是非ご出席いただきご意見を

第1号議案の「202
4年度活動報告の承認を
求める件」では、昨年12
月に施行されたオンライン
資格確認義務化に伴う
従来の健康保険証廃止に
対して、保険証の存続を

額上げなどが医院経営を
圧迫している厳しい状況
下で、閉院や廃業に追い
込まれる医療機関の増
加、それに伴う地域医療
の崩壊に対し、いかに取
悪化の中で、事業収入総

額に見合った事業支出総
額を堅持し、各収支項目
において合理性のある積
算額となるよう努め、更
に災害対策等のリスクマ
ネジメントに注意を払い
ながらの予算編成に努め
ていることを提案する。

議事に先立って開催さ
れる記念講演では、「開
業医・協会業務等への生
成AIの活用について」
との内容で、講師に京都
大学医学部附属病院・眼
科学教室の佐渡恵奈氏、
フィッティングクラウド
(株)代表取締役の岡本
和也氏をお迎えしてお話
しいただく。また議事終
了後には、豪華賞品が当
たる福引会も行われる。

是非、総会に足を運んで
いただき、忌憚のないご
意見を賜りたい。

額に見合った事業支出総
額を堅持し、各収支項目
において合理性のある積
算額となるよう努め、更
に災害対策等のリスクマ
ネジメントに注意を払い
ながらの予算編成に努め
ていることを提案する。

議事に先立って開催さ
れる記念講演では、「開
業医・協会業務等への生
成AIの活用について」
との内容で、講師に京都
大学医学部附属病院・眼
科学教室の佐渡恵奈氏、
フィッティングクラウド
(株)代表取締役の岡本
和也氏をお迎えしてお話
しいただく。また議事終
了後には、豪華賞品が当
たる福引会も行われる。

是非、総会に足を運んで
いただき、忌憚のないご
意見を賜りたい。

選定療養の乱用をするな 長期収載品の差額徴収は中止を！ 意見募集(パブコメ)ご協力のお願い

厚生労働省は現在、「**選定療養として導入すべき事例等（現行の見直しも含む）**」のパブコメを募集している。

昨年10月から、選定療養の仕組みを使った長期収載品の差額徴収が始まっているが、薬価以上の患者負担が生じる、差額徴収を巡って患者とトラブルになるなど、矛盾と混乱を現場に引き起こしている。薬剤の差額徴収は実質の混合診療であり、保険収載を前提としない選定療養の拡大は国民皆保険の形骸化を招きかねない。

については先生方に、①長期収載品の選定療養は中止すべき、②選定療養の乱用はすべきでない、という立場でパブコメをお送りいただきたくお願いする次第だ。寄せられた意見は今後、中医協で検討する参考資料となるため、多くの先生方のご協力をお願いしたい。

<パブコメの案内、提出様式のダウンロードはこちらから>

厚生労働省「選定療養として導入すべき事例等」に関する

提案・意見の募集について

【提出方法】(iryouka@mhlw.go.jp)宛に提出様式を添付しメール送信

【提出期限】6月30日(月)

【提出の手順】(※下記は長期収載品の記入例。複数の類型(番号)に意見する場合は、番号ごとのファイル作成が必要)

①上記パブコメ案内ページから「提出様式」(Word)を開き、2ページ目「I.提案・意見の種類」の記入欄に「2」を記入、4ページ目「見直しを行うべき類型の記入欄」に「15」を記入。

(様式2ページ目)

I. 提案・意見の整理

提案・意見が以下のいずれに該当するか、記入欄に番号を記入してください。(※提案・意見は様式1枚につき1つのみ記入してください)

1. 選定療養として新規導入すべき事例に関する提案
(現行の15類型以外で新たに選定療養に導入すべき事例の提案)

2. 現行の選定療養の見直しに関する意見

ここに「2」と記入⇒

記入欄 2

(様式4ページ目)

④ 開腹スキャン式持続血

糖測定器

⑤ 精子の凍結及び融解

⑥ 長期収載品

開腹スキャン式持続血糖測定器の使用(算定告示に掲げる療養としての使用を除く。)に関する料金

⑤ 精子の凍結及び融解

⑥ 長期収載品

長期収載品の処方等又は個別に関する料金

ここに「15」と記入⇒

記入欄 15

②様式5ページ目の、(2) 記入した類型(番号)の具体的な見直し(現行の取扱いの明確化、廃止等)の内容には、「長期収載品の選定療養は中止すべき」等記入し、(3)にその理由を記入。

③様式5～6ページ目の属性も可能な範囲で入力し、ファイル名を「選定療養」とし、メールの件名は「選定療養に導入すべき事例等」として上記アドレスに送信。

税務労務セミナー 医院経営に必要な基礎知識を学ぶ

4月20日、税対経営部は医科・歯科の
会員向けに「1日でわかる税務労務セ
ミナー」をWEB開催し、36名が参加した。
医院経営に必須の基礎知識を半日で学べ
る企画で、税理士・須藤ふみ代氏、社会
保険労務士・菅原由紀氏が講師を担当。

前半の「税務」では個人開業医の医業
所得計算と日常業務の要点にふれ、多くが取り組む青色申告
では最高65万円の特別控除や青色事業専従者給与の必要経費
算入などの特典を紹介。帳簿と資料の整理では電子帳簿保存
法への対応などを挙げ、税務調査に備えた対応が肝要と説いた。

後半の「労務」では「入口(雇入れ)と出口(退職)の整備が重
要」とし、特に雇入れ時、初めに結ぶ労働契約は提示だけで
なく従業員への内容説明が必要だとした。また「労働時間＝
明示・黙示問わず使用者の指揮命令下にある時間」と強調。
これを踏まえ、法定労働時間・所定労働時間・時間外労働、
休憩、法定休日と所定休日の違い、年次有給休暇、時間外労働・
休日労働、退職勧奨等を網羅的に解説。基本的な部分を正しく理解し、
未対応の場合は速やかに対応することが大切だとした。



講師の菅原氏

活動報告

quick reports